



第2回デジタル活用推進検討懇談会

2025年07月31日 13時00分～15時
佐渡市役所本庁2階 会議室2-202



- 1 開会
- 2 座長あいさつ
- 3 議事
 - 1) 佐渡市職員のデジタル診断結果について
 - 2) 窓口業務効率化WGの取組について
 - 3) 「2031年の先の佐渡市への提言」の検討
 - 4) その他（次回日程）
- 4 副座長あいさつ
- 5 閉会



2 座長あいさつ



3 議事

1) 佐渡市職員のデジタル診断結果について

3 議事

1) 佐渡市職員のデジタル診断結果について



デジタル化に関する職員アンケートの実施

I.目的

- 現在の働き方の課題とデジタル浸透度の把握

II.調査方法

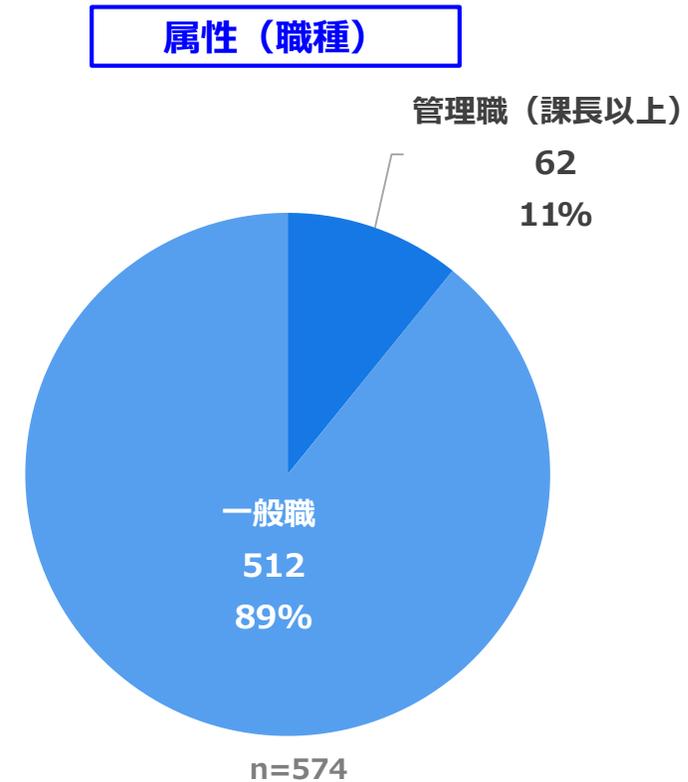
- アンケート画面URL送信によるWebアンケート

III.対象者

- 回答者：574名（全体母数：1067名、回答率：54%）

IV.実施日程

- 2025年5月26日～6月6日



3 議事

1) 佐渡市職員のデジタル診断結果について

ネット環境、設備や機能、デバイスの拡充
マインドセットや研修の開催
その他

13
7
4

管理職（課長以上）

職場に期待したいこと

Q. 今後あなたの職場の中で、デジタル化を進めるために、職場に期待したいことや、要望があればお書きください。

※全24コメントから抜粋

ネット環境、設備や機能、デバイスの拡充

- ✓ セキュリティ強化及びアクセス環境の整備を行ってほしい。
- ✓ ビジネスチャットが職場の中で庁内外問わず利用できる環境を期待したい。
- ✓ 庁内Wi-Fi環境の強化、携帯電波の強化。携帯電話の電波が弱く庁内で利用できません。（私用ではなく災害、緊急時等の必要時に不安）
- ✓ 自動払込機、簡単な証明発行機の導入、リモート会議用機器（大型モニター）の導入。

マインドセットや研修の開催

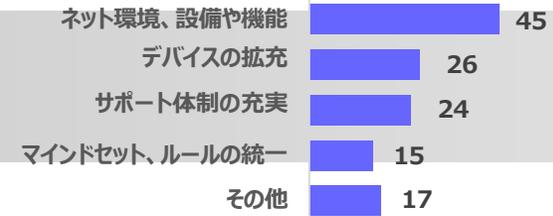
- ✓ マニュアルを放り投げるだけでなく、希望者のみでもいいので**操作説明会**などを行ってほしい。
- ✓ **みんなが使えるツールの導入と使い方の講習**をしてほしい。
- ✓ **取敢えずやってみるという行動力**。そこに賛同してくれる理解力。
- ✓ デジタル化に向けた**職員の意欲**。

その他

- ✓ **ルーティン業務のデジタル化**。
- ✓ 個々の業務においてデジタル化が業務効率化につながるのか、**業務の棚卸し**をしてもらいたい。
- ✓ **職場のフラット化、若手職員の活用**。

3 議事

1) 佐渡市職員のデジタル診断結果について



一般職

職場に期待したいこと

Q. 今後あなたの職場の中で、デジタル化を進めるために、職場に期待したいことや、要望があればお書きください。

※全127コメントから抜粋

ネット環境、設備や機能

- ✓ 職場への**Wi-Fi設置**。職員研修等の動画を共有するために**クラウド上を活用**。
- ✓ パソコンでのメール等だけではなく、**アプリ等の導入**。

デバイスの拡充

- ✓ 必要部署には**携帯の普及**。私用携帯を仕事相手と連絡を取り合うなんて…民間では通常あり得ません。**電話代、通信料が自己負担なのは問題**だと思う。
- ✓ 自身のスマホを使用して撮影等行っている、業務用の**タブレットやスマホの支給**。

サポート体制の充実

- ✓ **デジタル化の基本的な研修**。
- ✓ デジタルは苦手なので、**サポート体制を充実**してほしい。

マインドセット、ルールの統一

- ✓ **全職員の意識改革**が必要。
今のままでいい、という意識ではなく、**絶えず改善していこう**という意識を共有できれば、**デジタル化を含めた業務改善を進められる**と思う。

その他

- ✓ 各課に特化したものではなく佐渡市として**明確化、全体像を把握できる整備計画**を示してほしい。専門的なことはわからない。

3 議事

1) 佐渡市職員のデジタル診断結果について



DX化に向けたマイルストーン デジタル診断を通しての提言

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
実施内容	<p>デジタルツールの実装</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ パーパレス・オンライン申請拡大 ✓ フロントヤード改革の検討 ✓ デジタルツールの導入 ✓ 自治体標準システムへの移行 <p>DX推進スタートアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ デジタル診断による課題の可視化 ✓ セミナーによる管理職DX意識醸成 ✓ 庁内通信環境改善 	<p>デジタル活用の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ パーパレス・オンライン申請拡大 ✓ デジタルツールの利用拡大 ✓ フロントヤード改革の実施と拡大 <p>コミュニケーション基盤の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 全会議室へのモニター配備 ✓ PC無線化とWi-Fi基盤強化 <p>クラウド・インターネット積極活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ グループウェアクラウド化 ✓ LGWANインターネットアクセス ✓ サイバーセキュリティ対策実装 	<p>デジタル活用の高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ パーパレス・オンライン申請拡大 ✓ デジタルツールの利用拡大 ✓ フロントヤード改革の実施と拡大 <p>働き方改革に向けた施策（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 職務室のフリーアドレス化 ✓ テレワーク環境の整備 ✓ 内線網へのFMC導入 ✓ スマートフォンの公務活用拡大 ✓ 高度化したAIエージェントの導入 ✓ シャドーIT（セキュリティ対策）実装 	<p>デジタル活用の到達点</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 市民との協調によるデジタル活用構想・計画の推進 ✓ 行政改革と効率化・高度化の実現（AI・RPA・オーコード基盤） ✓ コンパクトな行政を目指したデジタル活用推進（オンライン） ✓ 農業、おもてなしのデジタル化に関する社会実験テーマの具現化
検証	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 導入デジタルツール精度/効果検証 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ パーパレス・オンライン申請 効果検証 ✓ フロントヤード改革 効果検証 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 働き方改革による業務効率化効果検証 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ R11以降の佐渡市デジタル政策の策定、公開
検討／予算要求	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コミュニケーション基盤の改善 ✓ クラウド・インターネットの積極活用 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ AI/RPA活用の高度化の検討 ✓ スマートフォン利用環境の推進 ✓ フロントヤードへのDX活用拡大検討 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ R10佐渡市デジタル政策の目標に向けた総点検、課題抽出 	
補足	<p>デジタルツールの実装の出発点となります。現施策に不足がないか、又どう目標に到達すべきか進めていくかデジタル診断を通して業務課題を洗い出します。</p> <p style="text-align: right;">予算化</p>	<p>現在のデジタル推進施策に合わせ、職員の働き方改革の推進を行います。また課題となる庁内ネットワーク基盤の見直しも検討を進める必要があります。</p> <p style="text-align: right;">予算化</p>	<p>デジタルの業務実装と働き方改革を定着させ、活用の高度化を進めます。令和10年度の到達点に向けた重要な年度となります。</p> <p style="text-align: right;">予算化</p>	<p>デジタル技術を取り入れた佐渡市が目指す未来のありたい姿です。この令和10年度目標から逆算してシナリオを作ります。</p>

3 議事

1) 佐渡市職員のデジタル診断結果について



具体策：庁内で働く環境の改善

- 情報系端末フリーアドレス（無線）化と会議室環境の見直し



庁内アクセスポイントの改修
(LGWANセグメント・認証追加)

会議室利用・備品管理ルール改訂
リモート会議優先会議室の立上げ
(リモート会議備品常設)

無線化PCモニター試験
(DX推進リーダー中心)

利用率の低い会議室の見直し
(モニタ設置検討、運用ルール見直)

利用調査・分析

庁内無線環境の強化

会議室環境の改善・フリーアドレススペースの開設(支所・SC職員用)
リモート会議ブース 設置等

3 議事

1) 佐渡市職員のデジタル診断結果について



具体策：リモートで働く環境の改善



- 自治体テレワークシステム（RDS）利用拡大
 - ☞ フリーアドレス化に伴う接続設計の見直し
 - ☞ 利用デバイス・利用用途の拡大
- （介護・育児との両立や、災害・パンデミック等職場に行けないケースの勤務として個人PCからのアクセスを許可）

- グループウェアのクラウド化
- - メール、スケジュール、回覧、インフォメーション等
 - リモート環境からのアクセスを許可
- - 接続デバイスの拡大（スマートフォン、タブレット端末）





3 議事

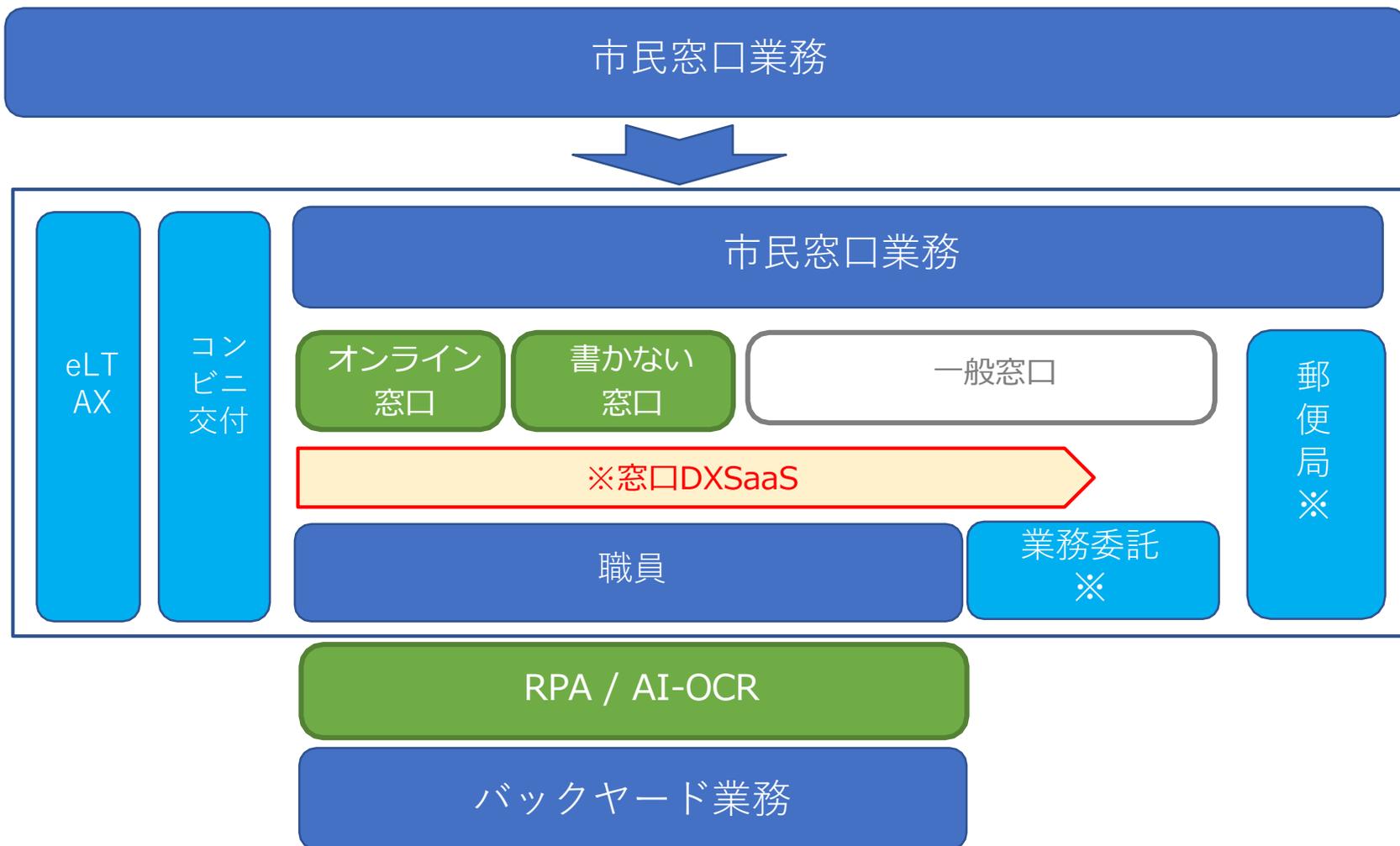
2) 窓口業務効率化WGの取組について

3 議事

2) 窓口業務効率化WGの取組について



WGで議論している改革案のイメージ図



オンライン窓口イメージ



RPAイメージ 引用:オープン株式会社



3 議事

3) 「2031年の先の佐渡市への提言」の検討

3 議事

3) 「2031年の先の佐渡市への提言」の検討



- 1) 佐渡市デジタル活用の加速化のため“サイバー空間でのコラボレーションデザイン”
関係・交流人口（首都圏企業）と地場企業との機会創出。
メタバースとAIエージェントを活用したコラボレーション創出。
デジタルツインと空間コンピューティング（Spatial Computing）を融合し、
防災・医療・福祉・教育・生活・環境等のデータ連携をサイバー空間上で実現する。
（データ連携をデータ活用として捉え、LLM/AI Agentとの連携をやすくする）

- 2) 佐渡市デジタル活用の加速化のため市民との新しい考え方の共創プラットフォームデザイン
Web3.0、NFT、ブロックチェーンを活用した“街づくり”へのチャレンジ。
DePIN（分散型インフラネットワーク）ブロックチェーン技術を活用したインフラを構築・管理する
分散型ネットワークで、個人や企業が自らのリソースをネットワークに提供し、それを利用者と共有
することで生み出される新たなサービスで、Web3.0を実社会へ実装をしていく。
*DePINの定義では、インフラがその対象になっているが、物理的なモノ全て、個人の持つ情報や経験等も
他者・他人が使えるようにすることで価値創造を生む。

“データ”を価値ある情報に変えるために“デジタル”テクノロジーであるAI人工知能を活用して
市民中心の未来の佐渡市の“デザイン”をすることで、持続性の推進力を生む！ということを目的に
2031年の先の佐渡市への提言を検討していくことを提案します。

3 議事

3) 「2031年の先の佐渡市への提言」の検討



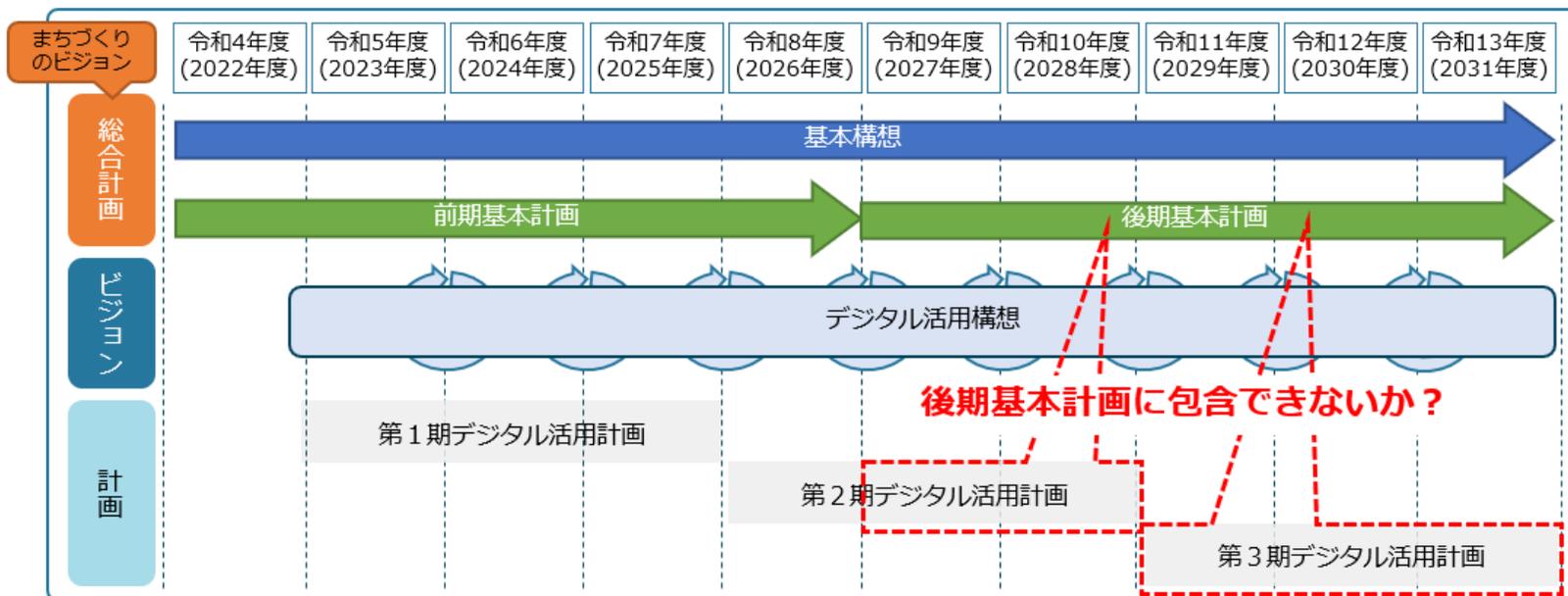
佐渡市デジタル活用構想・計画策定の背景・目的



まちづくりのビジョンの実現に貢献するための手段として、また、総務省が示す自治体DX推進計画に掲げられている重点取組事項※2等の実行に貢献するための基本的方針として、「佐渡市デジタル活用構想・計画」を策定します。

中長期的な視点により、佐渡市が目指すデジタル技術活用社会を明確化し、市民と共有するための構想及び計画とします。また、デジタル技術の活用や社会実装に向けてコラボレーションすべき関係者や適応技術を考えるための指針になるものとして。

なお、今回策定する構想・計画については、地域課題の動向や日々進化するデジタル関連技術の動向を踏まえ、必要に応じて見直ししながら更新を図るものとして。



バックキャストして
計画（ストーリー）
を考えるための
2031年以降の未来

提言できないか？

※2：自治体DX推進計画に掲げられている重点取組事項
(1) 自治体情報システムの標準化・共通化
(2) マイナンバーカードの普及促進
(3) 自治体行政手続きのオンライン化
(4) 自治体のAI・RPAの利用促進
(5) テレワークの推進
(6) セキュリティ対策の徹底

3 議事

3) 「2031年の先の佐渡市への提言」の検討



※P.14の提言案を生成AIに要約してもらいました

1) 佐渡市デジタル活用の加速化のためのサイバー空間での

- このプロジェクトでは、東京などの大都市と佐渡市の企業が協力して新しいビジネス機会を作ることを目指しています。
- メタバース（仮想空間）やAI（人工知能）を使って、さまざまな分野（防災、医療、教育など）でのデータを集め、一緒に活用できるようにする仕組みを作ります。
- これにより、データをより良く使えるようになり、地域の暮らしを向上させることを目指しています。
- 市民との協力による新しいまちづくり

2) 佐渡市デジタル活用の加速化のため市民との新しい考え方の共創プラットフォームデザイン

- Web3.0やブロックチェーンといった新しい技術を使い、まちづくりにチャレンジします。
- 市民や企業が自分の持っているリソース（物や情報など）をネットワークで共有し合うことで、新しいサービスを生み出します。
- これにより、市民が参加できる分散型のインフラを構築し、実際の生活に新しい価値をもたらすことを目指しています。
- このように、デジタル技術を使って佐渡市の未来をサポートし、持続的発展を推進していくことが主な目的となります。

3 議事

3) 「2031年の先の佐渡市への提言」の検討



【ご参考】佐渡市の宣言一覧

宣言	内容
ネイチャーポジティブ佐渡島宣言 (2022.10.23)	世界では、カーボンニュートラルに続く生物多様性保全が重要視され、 「2030年までに生物多様性の回復」 という目標が掲げられています。佐渡市は、トキの野生復帰を進め、生物多様性の保全に取り組んでおり、ゼロカーボンアイランドの推進と循環型経済の発展を図ります。具体的には、保護地域を拡充し、資源の削減と新産業の創出を目指し、トキとの共生の知見を他地域と共有します。これにより、「ネイチャーポジティブ」を宣言し、 地域循環共生圏の実現 を目指します。
ローカルSDGs佐渡島宣言 (2021.11.21)	私たちは、トキと共に暮らす島で、里山・里海文化を未来に継承するため、脱炭素、資源循環、自然共生の理念を追求し、 「地域循環共生圏」の創造 に取り組みます。また、「SDGs日本モデル」宣言に賛同し、人口減少や超高齢化などの社会的課題に対処するため、市民や企業、学校と協力し、 絶滅したトキの復帰や生物多様性保全 に努めます。これにより、離島佐渡から日本の「SDGsモデル」を世界へ発信することを決意しました。
2050年カーボンニュートラル宣言 (2020.02.23)	離島周辺には豊富な再生可能エネルギー資源があるものの、本土との系統連携がないため、高コストのディーゼル発電に依存し、CO2排出量が多いという課題があります。これを解決するため、 「自然エネルギーの島構想」 を掲げ、洋上風力発電の導入や水素サプライチェーンの構築に取り組むことで、 エネルギーの転換と脱炭素化 を目指します。この構想は、SDGsの達成や地球温暖化への対策として重要とされ、佐渡市と粟島浦村は 「ゼロカーボンアイランド」 を実現するための取り組みを進めることを決意しました。
オーガニックビレッジ宣言 (2025.11.10)	世界的に生物多様性の保全が重要視され、「ネイチャーポジティブ」が次の目標として注目されています。佐渡市はこの理念を実践し、無農薬栽培米の拡大や朱鷺との共生を促進する 「朱鷺の郷づくり認証制度」 を導入。また、水田除草機の導入や栽培技術の向上で、豊かな生物多様性と農業経営の安定化を図ります。さらに、食農授業を通じて環境教育を強化し、有機農産物の給食提供で 地域の環境ブランドを育成 。地域循環共生圏の創出やゼロカーボンアイランドの実現に向けて、環境投資や循環型経済の推進にも取り組みます。



4 議事

4) その他（次回日程）



5 副座長あいさつ



6 閉会



<https://www.city.sado.niigata.jp/>